

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)

【公開番号】特開 2018-126294 (P2018-126294A)

【公開日】平成 30 年 8 月 16 日 (2018.8.16)

【年通号数】公開・登録公報 2018-031

【出願番号】特願 2017-20915 (P2017-20915)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 8 日 (2020.5.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、
遊技に関する演出を実行可能な演出実行手段と、
発光手段と、
前記発光手段からの光が端面から入射されることにより演出表示を行うことが可能な導光板と、
前記導光板を取付位置に保持するための保持体と、
を備え、
前記発光手段は、第 1 発光手段と該第 1 発光手段と異なる第 2 発光手段とを有し、
前記導光板は、前記第 1 発光手段から光が入射されることにより第 1 演出表示を表示可能であり、前記第 2 発光手段から光が入射されることにより前記第 1 演出表示と異なる第 2 演出表示を表示可能であり、
前記演出実行手段は、前記導光板による演出を複数のタイミングで実行可能であり、
前記保持体は、前記導光板を一面側と他面側とから挟み込むように前記取付位置に保持可能であり、
前記導光板を前記保持体により保持した状態において、前記導光板と前記保持体との間に隙間が設けられ、
前記導光板による演出の実行タイミングにより期待度が異なる
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

前記課題を解決するために、本発明の手段 1 の遊技機は、
遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、
遊技に関する演出を実行可能な演出制御手段（例えば、演出制御用 CPU 120 など）と、

発光手段（例えば、第 1 導光板 L E D 5 1 2 , 5 1 7、第 2 導光板 L E D 5 2 2 ）と、前記発光手段からの光が端面（例えば、上端面 5 1 1 A , 5 2 1 A、左端面 5 1 1 B ）から入射されることにより演出表示（発光表示）を行うことが可能な導光板（例えば、第 1 導光板 5 1 1、第 2 導光板 5 2 1 ）と、

前記導光板を取付位置（例えば、前取付位置、後取付位置）に保持するための保持体（例えば、前保持部材 5 0 3 , 中保持部材 5 0 4 , 後保持部材 5 0 5 ）と、

を備え、

前記発光手段は、第 1 発光手段と該第 1 発光手段と異なる第 2 発光手段とを有し、

前記導光板は、前記第 1 発光手段から光が入射されることにより第 1 演出表示を表示可能であり、前記第 2 発光手段から光が入射されることにより前記第 1 演出表示と異なる第 2 演出表示を表示可能であり、

前記演出実行手段は、前記導光板による演出を複数のタイミング（例えば、1 の変動表示が開始した時、1 の変動表示においてリーチ状態が発生する前、1 の変動表示においてリーチ状態が発生した時、1 の変動表示においてリーチ状態が発生した後、大当たり遊技状態中など）で実行可能であり、

前記保持体は、前記導光板を一面側と他面側とから挟み込むように前記取付位置に保持可能であり、

前記導光板を前記保持体により保持した状態において、前記導光板と前記保持体との間に隙間（例えば、隙間 S 2 0 , S 2 1 , S 2 2 ）が設けられ（図 8、図 1 7、図 2 1 参照）、

前記導光板による演出の実行タイミングにより期待度が異なる

ことを特徴としている。

この特徴によれば、導光板の熱膨張に対し好適に対応できる。また、導光板による演出の実行タイミングに遊技者の注意を集めることができれば、導光板による演出の演出効果を向上でき、導光板による演出に基づく興趣をより向上させることができる。